

夢中熱中青春ライフ!



25

大館ロートル野球チーム

一つの白球を全員で追いかけて、チームワークが要求されるスポーツの花形「野球」。
今回は大館ロートルチーム（会長・乳井栄治さん）の還暦野球大会の監督を務める、豊町の藤原良一さんにお話を伺いました。

還暦軟式野球

全県大会優勝

「大館ロートル」チームは歴史がとて古くて、チームが結成されたのは戦前にさかのぼります。現在四十八名の会員がいて、満四十歳以上の人で構成されていますが、七十歳を過ぎた



どうです。みごとなかまえてしょう

人たちも元気ががんばっています。

大館ロートルチームが出場する大会は、三百六十歳野球や四百五十歳野球・五百四十歳野球・還暦軟式野球・七十歳以上の人が出場できる古希野球などいろいろとあります。野球は少年野球や高校野球だけではないんですよ。

私が出場した全県還暦軟式野球大会の話になりますが、平成三年の第六回大会では優勝しました。能代市の赤沼球場で開催されたんですが、念願の初優勝を成し遂げ、仙台の広瀬球場で行われた東北シニア軟式野球大会へも出場できました。

楽しみながら

晴れ舞台目指す

チームには若い時から野球を

全県還暦軟式野球大会



全県優勝したときのメンバー

続けてきた人もいますが、社会人になってから初めて野球を始めた人もたくさんいます。野球を通して親しくを深めたり健康増進のためにも思ったりして野球を続けていますから、まあ早い話が楽しみながらプレーをしているといった感じですかね。練習もあまり無理をしないように、一週間に二回ぐらいにしているんです。

還暦野球チームとなると県内でもあまり多くありませんから、弘前市の「UFO」というチームと毎年交流試合をしています。今度の試合を今からとても楽しみにしています。

今年は今日本の還暦軟式野球大会が、九月に弘前市で開催されることに決まっていますからがんばって秋田県大会で優勝して、全国大会という晴れ舞台でプレーしてみたいですね。

高崎発 → 大館着

前略

大館市民になりました

26

☆今回は東二ツ屋の田中（たなか）さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻と、息子が二人、娘が一人の五人家族です。

Q・どちらからおいでになりましたか？

ふるままで有名な、群馬県高崎市から来ました。妻は婦

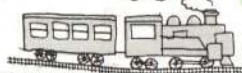
恋村の出身です。

Q・大館の印象はいかがですか？

気候が穏やかでとても住みやすいと思います。高崎は湿度が高くて汗っかきの私は大変でした。今年の一月十日に大館に来たんですが、雪は思ったより少なかったですね。それから物価は高いという印象を受けました。

Q・食べ物や言葉はどうですか？

子供が学校で、「冷たい」ことを「しやっけえ」、給食を「残す」ことを「あます」と教えられて来ました。少しとまどっているようです。妻は、地元の人同士の会話が時々分からないこともあると言いますが、妻に話す時は共通語を使ってくれるそうなので、あまり不便は感じていないようですよ。



Q・大館にどんなことを望みますか？

前に住んでいた所では、図書館よりも移動図書館をよく利用していました。近くへ回って来てほしいと思っています。

買い物は妻が仕事の帰りにしてくるんですが、大きなデパートやスーパーマーケットが少ないですね。近くに無いのもとても不便なようです。



学人さんと奥さんの育子さん、長男の貴男くん、長女の真理子ちゃん、次男の君人ちゃん